日本建築学会構造系論文集 No. 528 2000・2

JOURNAL OF STRUCTURAL AND CONSTRUCTION ENGINEERING (Transactions of AIJ)

コンファインドコンクリートの強度および変形挙動に関する解析的研究……………平岩 陸、谷川千雄、森 博嗣、川戸耕介

高強度鋼化高強度構造用コンクリートの破壊特性……………検高義典、高橋智幸、吉川隆洋

せん断ボックス試験による高密度サスペションのレオロジー性質に関する実験的研究……………三島直生、谷川千雄、森 博嗣、黒川善幸、寺田謙一、服部篤範

駐車場防水層の舗装走行による損傷試験装置の開発……………田中幸二、香川英司、宮本博之

赤外線法による外壁剥離診断における損傷処理による診断精度向上に関する実験的研究……………西川 忠、平野純彦、鎌田英治

車椅子の直進走行性からみた床、舗装路、斜路のすべりの相対的評価方法に関する研究……………小野英治、井戸川純子、吉川宏樹

着地すべり試験機の開発およびC.S.R.の下限値の提示 すべりの変化を認知していない場合を対象とした床のすべりの評価に関する研究 その2……………横山 聡、伊藤栄信、高橋宏樹、小野英治

点字ブロックおよびその取設状態の視覚的認識性に関する基礎的研究……………三上貴正、天野真二、渡会奈由香、坂井映二

制御駆動荷重を用いる勾配路旋回における制御日数について……………高倉政寛、千葉隆弘、江東敏幸、木氷 圭

偏心を有する構造物系の最大塑性率応答に着目した地震応答制御に関する研究……………山下忠治、向井一洋、井上 豊

粘弾性ダンバーの設置による建物の高耐震化と耐震設計……………曾田五月也、高橋雄司

地震直後に誘発される建物の剛性減衰の同時同定……………中村 充、竹脇 出、安井 謙、上谷宏允

コイルスプリングと粘弾性ダンバーを用いた建物防振構法……………高木政美、藤井幸二、曾田五月也

階層型デジタル画像に基づく相骨材ーメタル界面を考慮したコンクリート材料の非線形有限要素解析手法……………永井学志、山田貴博、和田 章

均質化設計法を用いた変形変形機構の位相変換化……………藤井大地、江島 輝、菊池 弘

建築物構造物のトラシール表現を用いた変形ヒンジ形成位置の効率的解析……………上谷宏二、竹脇 出、岡田城之、社 聖晃

接合部のコストを考慮した半剛接鉄骨建物の最小コスト解析……………松本慎也、春日康博、藤井大地、藤谷義信

水平打ち築ぎを有するRC梁部材のせん断補強筋が構造特性に及ぼす影響とせん断伝達性能……………中野克彦、松崎育弘

鉄筋コンクリート床スラブの歩行時振動の減衰定数推定法……………伊藤正義、井野 智、松村正弘

1995年兵庫県南部地震におけるRC造建物群の耐震性能……………林 康裕、宮崎淳一、田村 晃、大野義昭

接合部パネルが強化化する鉄骨構造骨組の地震応答状況に関する振動台実験……………長谷川 陽

中間に座席補強支点を有する圧縮材の弾性変動と必要補強性能……………深尾英邦、森野健輔

限界状態設計におけるSRC部材の耐力係数……………内田博雄、森野健輔

コンクリート充填鋼管柱の鋼管亙裂と累積破壊変形能力に関する研究……………奥相雄二、松山隆之

コンクリート充実角形鋼管柱・鉄骨一の内部補強形状接合部の研究 一接合部部材の弾性変形一……………福元敏之、森田耕次

社会生活統計指標に基づく行政区分地域災害脆弱性評価……………浦家 規、多賀恒雄

密度成層を考慮した超大型浮遊式海洋構造物周辺の流動・拡散シミュレーション……………岡本一明、小野 健、西條 修

RC系1段階跳弾性モデルの変形制御設計法に関する研究 その1 部材断面選定法……………和田 正、鹿野和彦

社団法人 日本建築学会

NII-Electronic Library Service